



## ■ 目次

- ◆ 3年不使用取消案件における虚偽又は偽造の証拠の提出に対する法的結果及び登録商標の維持に関する提案
- ◆ Linda と Jenniferの対談録

### 3年不使用取消案件における虚偽又は偽造の証拠の提出に対する法的結果 及び登録商標の維持に関する提案

北京林達劉知識産権代理事務所  
中国弁護士・商標弁理士 姚 敏 (Min YAO)  
中国弁護士 陳 傑 (Sai CHEN)

2017年、中国における新規の商標登録出願件数は574.8万件に達し、累計の出願件数及び登録件数はすでに膨大な数になっている。先行登録商標の爆発的な増加により、新たな商標出願に際して、拒絶査定及び部分拒絶査定されるように件数も非常に多くなっている。拒絶査定及び部分拒絶査定の件数は2017年、計159.5万件に達した。

引用商標の存在により、商標出願が拒絶査定されることを回避するために、出願人は3年不使用取消審判の申請要件を満たす引用商標に対して、不使用取消審判請求を提起することが多くなっている。商標局が受理した3年不使用取消審判請求案件(以下、「3年不使用取消案件」という)は2017年、前年比43.19%増の5.7万件に達し、今後も引き続き増加することが予測される。

商標法の関連規定によれば、商標権者は商標局から登録商標の使用証拠の提出を求められたら、登録商標を維持するために、商標局が指定する期間内に登録商標の使用証拠を提出しなければならない。しかし、当該登録商標が実際には使用されていない状況下で、一部の商標権者は登録商標が取消されることを危惧して、虚偽又は偽造の証拠を提供する法的結果をよく知らないまま、案件において虚偽又は偽造の使用証拠を提出した。

本稿は、3年不使用取消制度の制定目的、3年不使用取消案件で虚偽又は偽造の証拠を提出することによる法的結果をまとめると共に、商標使用を十分に証明できる使用証拠を確実に提出できない時、登録商標を維持する方法について検討を進めるものである。

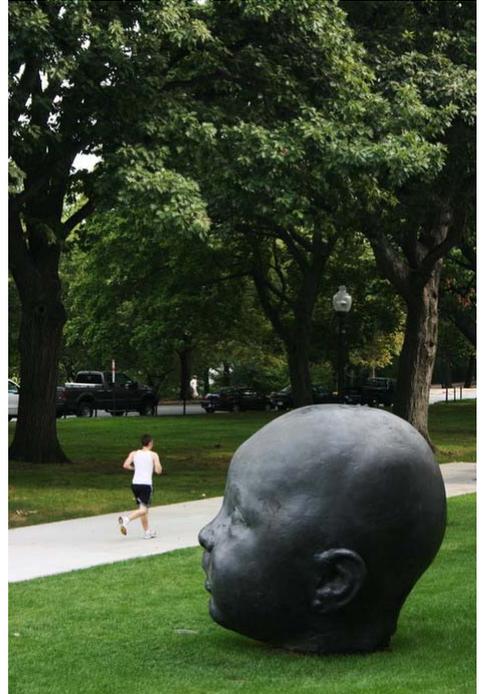
その内容が皆様の実務に少しでもお役に立てば幸いである。

## 1. 3年不使用取消制度の制定目的

商標法第49条第2項には、「登録商標は正当な理由なく、継続して3年間使用していない時、如何なる単位又は個人も、商標局に当該登録商標の取消を請求することができる。」と規定しているが、これが3年不使用取消案件を提起する法律根拠である。

また、商標法第4条には「自然人、法人又はその他の組織が、製造経営活動において、その商品又は役務について商標専用権を取得する必要がある場合には、商標局に商標登録を出願しなければならない。この法律の商品商標に関する規定は、役務商標にも適用する。」と規定している。

中国は商標権登録制度を採用している国であるものの、商標は製造経営活動と緊密に係り、商標登録を出願する目的は、商品又は役務において商標を使用することであり、「使用」こそが商標の最も重要な意義であることが、上述の法律内容からも分かる。商標権者が登録商標を実際に使用することを促し、使用していない休眠商標を整理するために、3年不使用取消制度は制定された。しかし、実務において、使用のニーズがない状況下で登録したが、実際に使用していない登録商標は中国だけでなく、世界各国にも多く存在している。理論的に、商標は漢字、外国語、図形、数字などの各種の要素が単独に又は組み合わせてデザインされるため、組み合わせの可能性は無限にある。しかし、実際には商標は簡単で覚えやすく、流暢に読みやすく、イメージが良いなどという多くの要件を満たす必要があるため、登録できる商標には限りがある。特に、膨大な先行商標が存在するという状況において、条件のそろった商標を作成し、順調に登録させるまでこぎつけることは、決して容易なことではない。「3年不使用取消制度」は商標権登録制度に対して矛盾する存在であるものの、商標権者に商標を実際に使用させる手段でもあり、各方面の利益のバランスを取った結果である。



商標法第49条には、「登録商標は継続して3年間使用していない時は、如何なる単位又は個人も、商標局に当該登録商標の取消を請求することができる。」と規定している。実務において、登録商標が市場で実際に使用されていないことに対する初歩的な立証責任は3年不使用取消案件の請求人が負うべきであるが、インターネット調査や現地調査の結果が証拠として認められるし、実際には、如何なる調査もせず、「使用されていない」ことだけを言明しても、3年不使用取消審判請求を商標局に提起できる(本稿ではこのやり方が合理的であるか否かについて論議せず、実際の状況だけを述べる)。一方、商標権者は商標審査部門に、当該登録商標が指定期間(3年不使用取消案件の請求日から遡って3年間)内に実際に、有効的に、公開使用されていることを証明しなければならない。登録商標が指定期間内に使用されている使用証拠を、商標権者が提出できない場合、登録商標は取消される。

## 2. 虚偽又は偽造の証拠を提出する法的結果

登録商標が取消されることを危惧して、商標権者が3年不使用取消案件において虚偽又は偽造の証拠を提出することは珍しいことではない。しかし、筆者及び弊所が代理した数多くの3年不使用取消案件において、商標局、商標

審判委員会は、その請求人からの指摘又は自らの判断で商標権者が虚偽又は偽造の証拠を提出したことを発見したとしても、商標権者に如何なる処罰を下すことはなく、使用証拠が無効であると認定し、商標の登録を取消すだけである。

商標法実施条例第66条には、「期間内に使用証拠を提出しないか、又は使用証拠が無効であり、且つ不使用の正当な理由がない場合は、商標局はその登録商標を取消す。」と規定しているが、商標権者が虚偽又は偽造の証拠を提出する法的結果については、明確に規定していない。このため、3年不使用取消案件において虚偽又は偽造の証拠を提出しても法的処罰を受けないと思われていることがあることは否めない。

実際には、中国の関連法律には証拠を偽造した場合の法的結果を明確に規定している。『行政訴訟法』第59条は「訴訟参加人又はその他の者が以下に掲げる行為のいずれかをした場合、裁判所は情状の軽重に基づき、訓戒に処し、反省悔悟を命じるか又は1万元以下の罰金を科し、15日間以下の拘禁に処することができる。犯罪を構成する場合、法に基づき刑事責任を追及する。(二)証拠を偽造し、隠匿し、破壊するか又は虚偽の証明資料を提供し、裁判所の審理を妨害する場合』と規定している。

北京市高等裁判所は『当面の知的財産裁判において注意すべき若干の法律問題』において、継続して3年間使用しなかった登録商標の審査について、「商標権者が提出した一部の使用証拠が虚偽である場合、商標権者が提出した全ての証拠に対して厳しく審査すべきであり、使用証拠の標準を適切に高め、且つ使用証拠を偽造する行為に対して処罰すべきであり、偽造行為をまねようとする者を戒める。」という観点を明らかにしている。上述の内容は司法解釈ではないものの、3年不使用取消案件の行政訴訟の終審裁判所である北京市高等裁判所が表明した上述の観点は、司法裁判の主流観点を代表していることが明らかである。

筆者が取扱った第5210371号商標「珠穆朗瑪峰」の不服審判に係る審決取消行政訴訟において(筆者は3年不使用取消案件の請求人の代理で、行政訴訟一審の第三者である)、北京知的財産裁判所は一審判決で、「原告(商標権者)が提出した委託加工契約には、契約の関連条項に係る3つのブランドが覆い隠され、且つ覆い隠された後に係争商標の書き込めるスペースは十分に残されていない。原告は問いただされた後、本裁判所に合理的な理由を説明しなかったため、原告は本案件において、重要な使用証拠を偽造した疑いがあり、原告の一部の使用証拠は認められないと同時に、審理過程において、原告が提出した他の使用証拠も一般の審理標準より厳しい審理標準を採用する」と認定した。北京知的財産裁判所は開廷審理の際、原告が提出した虚偽の疑いのある使用証拠に対し、原告の代理弁護士を訓戒し、代理弁護士より原告にも裁判所からの訓戒を伝達することを命じた。北京市高等裁判所も、北京知的財産裁判所の上述認定及び判決を認めた。

北京知的財産裁判所は第4305050号商標「高通」の不服審判に係る審決取消行政訴訟において、商標権者の上海高通半導体有限公司が2010年8月12日から2013年8月11日の期間中に、「コンピューターソフトウェア設計、コンピューターソフトウェアメンテナンス」などの役務項目において、第4305050号商標「高通」を有効的に、商業使用したことを証明するため、本裁判所に提出した2011年3月8日に深セン市瑞融実業有限公司との間で締結した「高通」ブランドの電子部品販売契約の原本が、商標審判段階で提出された当該販売契約の写しと一致せず、具体的には、販売契約の原本には「高通」という文字及び図形商標が示されていないが、当該販売契約の写しには示されていた



ことについて、上海高通半導体有限公司は合理的な説明を行わなかったことを明らかにした。以上に基づき、北京知的財産裁判所は、上海高通半導体有限公司が証拠の偽造行為を行い、行政訴訟を甚だしく妨害したと認定した。上述の『行政訴訟法』の規定に基づき、北京知的財産裁判所は上海高通半導体有限公司に1万元の罰金を科した。

これらのことから分かるように、3年不使用取消案件において、虚偽又は偽造の証拠を提出した場合、全ての使用証拠に対する裁判所からの審理が厳しくなるだけでなく、訓戒に処され、反省悔悟を命じられるか又は1万元以下の罰金が科され、15日間以下の拘禁に処される深刻な法的結果に直面する可能性がある。さらに、深刻な犯罪行為に該当すれば、法に基づき刑事責任も追及されることになる。北京知的財産裁判所は多数の3年不使用取消に係る不服審判の行政訴訟案件において、虚偽又は偽造の証拠を提出した商標権者を訓戒に処し、全ての使用証拠に対して厳しい審理を行った。

しかし、上述の法律規定はあくまで行政訴訟段階の証拠に対する規定なので、一部の商標権者は楽観的に考え、行政訴訟の段階に入らなければ、上述の法的リスクに直面することもなく、商標審判段階までで解決できれば、関連の処罰制度も整備されていないため、証拠を偽造するコストもリスクも低いはずであると誤解しているようである。しかし、3年不使用取消案件の請求人は登録商標を取消す確実なニーズのためであれば、全ての救済手続きを有効利用するはずであるので、3年不使用取消案件が審判段階で解決できるか否かについて、商標権者が決定できるわけではない。さらに、近年の司法実務において、裁判所の証拠に対する審理、証拠の偽造行為に対する処罰が益々厳しくなっていることが、前述の判例からも分かる。したがって、登録商標を維持するため、浅はかな行動で証拠を偽造することは、決して得策ではない。

### 3. 登録商標の維持に関する提案

3年不使用取消案件において、指定期間内に登録商標が実際に、有効的に、公開使用されている使用証拠を提出することは登録商標を維持するポイントである。商標権者は登録商標を実際に使用してなく、ある理由(まだ使用していないが、将来的に使用する可能性があるなど)により登録商標を維持したい場合、深刻な法的リスクをもたらす可能性があるため、虚偽又は偽造の証拠を提出すべきではない。特に3年不使用取消案件は請求人と係るため、対抗性が比較的強い。虚偽又は偽造の証拠には様々な問題点があり、たとえ審判段階において、商標局と商標審判委員会に虚偽又は偽造の証拠の真実性が指摘されなかったとしても、訴訟段階において、3年不使用取消案件の請求人に指摘される可能性が高い。

実際に使用していない商標について、できるだけ早く再出願すると同時に、商標併存を条件として、取消審判の請求を取り下げよう、請求人と協議することによって、登録商標を維持することをお勧めする。取消審判の請求を取り下げることについて、案件の段階によって、効果及び手続きが異なっているため、以下のとおり詳しく紹介する。

## (1) 商標局における取消請求の段階

実際に使用していない登録商標について、商標権者は商標局から使用証拠を提出することを求める通知を受領してから2ヶ月以内に、使用証拠を商標局に提出することができる。商標権者はこの期間中及び商標局が取消案件の審決を下すまでの期間に、請求人に連絡し、商標併存を協議できる。

3年不使用取消案件の請求人に商標併存の協議に同意させるには、以下のような理由が考えられる。(1)3年不使用取消請求及びその後続手続きは時間がかかり、費用が高い。(2)3年不使用取消案件は独立した案件ではなく、商標局は登録商標を引用して、3年不使用取消案件の請求人の商標出願を拒絶査定し、その商標登録障碍を排除するため、請求人が先行登録商標に対し、3年不使用取消審判を請求するのが多い。商標権者は商標局から使用証拠を提出することを求められたら、商標を直ちに再出願できる。後続手続きは時間がかかるため、再出願が登録査定される可能性はきわめて大きい。商標権者の先行登録商標が実際に取消されるまで、取消審判の請求人の商標出願は登録査定できない。(3)法律手続きは時間がかかり、市場における機会を一瞬で失ってしまう。商標をできるだけ早く登録させることは、3年不使用取消案件の請求人にとって、目の前にあるチャンスをつかみ、市場を開拓し、自身の実力を高めるというメリットを有する。

この段階において、商標権者は3年不使用取消案件の請求人と商標併存について協議した後、取消案件の請求人は取消請求を取り下げることができる。商標局は結審して、商標権者は当該登録商標を維持できる。

弊所はクライアント(商標権者)を代理し、3年不使用取消案件の請求人と商標併存を協議することにより、取消案件の請求を取り下げてもらい、商標登録を維持できた数多くの事例を取扱っている。

## (2) 商標審判委員会における取消案件に係る不服審判請求の段階

もし、上述取消審判請求の段階において、商標併存を協議できず、商標権者は商標局により登録商標が取消されたら、商標審判委員会に不服審判を請求することが考えられる。不服審判段階で商標併存を協議できたら、3年不使用取消案件の請求人(不服審判案件の被請求人)は不服審判請求を取り下げ、商標登録の維持に同意するとの声明書を発行できる。なお、当該声明書は商標審判委員会に提出しなければならない。声明書が提出されると、商標審判委員会の使用証拠に対する審査も随分緩和される。商標権者はある程度の使用証拠を提出できれば、使用証拠が十分でなくても、商標審判委員会は声明書に基づき、登録商標を維持する審決を下す可能性が高い。

弊所はクライアントを代理し、不服審判の段階で、3年不使用取消案件の請求人と商標併存を協議し、取消案件の請求人に声明書を発行してもらい、商標登録を維持できた事例も取扱っている。

## (3) 行政訴訟の段階

行政訴訟の段階で商標併存を協議し、同意書や声明書を裁判所に提出する場合、裁判所の目下のやり方として



は、訴訟において被訴決定の合法性に係る問題が審理されるため、当該文書は本案件と関連がないと判断し、当該証拠を採用しない。第4676689号商標の審決取消行政訴訟において、原告(上诉人)であるSS株式会社は第三者(3年不使用取消案件の請求人)の北京中貿促商務諮詢中心と一審で商標併存を協議し、原告は北京知的財産裁判所に商標併存の同意書を提出した。しかし、北京知的財産裁判所は、本案件が被訴決定の合法性に係る問題を審理し、SS株式会社が既に北京中貿促商務諮詢中心と和解し、北京中貿促商務諮詢中心が既に3年不使用取消案件の請求を取り下げを申請する状況は、本案件の審理とは関連がないとして、SS株式会社の本案件の審理を停止するという主張を認めなかった。北京市高等裁判所は二審において、一審裁判所の上述観点を認めた。

したがって、双方当事者は商標併存で係争を解決したければ、商標局の取消審判請求の段階及び商標審判委員会の不服審判の段階で対応を取るべきである。

#### 参考資料:

1. 『中国商標 ブランド戦略年度発展報告(2017)』

<http://sbj.saic.gov.cn/sbtj/201805/W020180513829986812509.pdf>

2. (2016)京73号行初4892号行政判決書

3. (2017)京行終4118号行政判決書

4. (2016)京73行初1672号行政判決書

5. (2015)京知行初字第3126号行政判決書

6. (2016)京行終3698号行政判決書

### LindaとJenniferの対談録

Block TEST共同創業者兼最高経営責任者

蔣 紅波(Jennifer Jiang)

北京林達劉知識産権代理事務所 所長

劉 新宇(Linda Liu)



前書き: もう若いとはいえない私が、長時間のフライトを経て、ポストンのハーバード大学にやってきたのは、ある美しい女性に会うためでした。様々な物語を語ってくれた彼女との対談を通して、皆さんを素敵な世界に誘えたら幸いです。

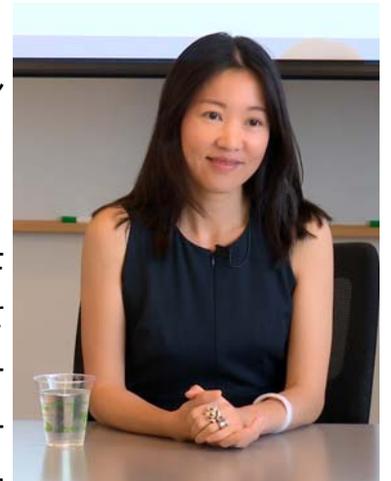
人生とは決して永遠に続く旅ではなく、自分自身が見ることのできる景色も限られています。しかし、この旅の途中で出会った多くの素晴らしい人々が、自分の人生のカンバスに鮮やかな色彩を添えてくれると、人生の明るさにも尺度にも変化が生じます。私自身、この人に激動させる時代に成長できたことを、実に感慨深く思っています。1980年代の初頭、中国の若者たちが胸を張って大学に戻り、未来への希望をようやく語るできるようになった時期に、私は北京の什刹海の近くにあった輔仁大学の跡地—北京師範大学輔仁校区化学部で一生の親友となる陳麗梅さんと出会いました。私たちは、同級生として7年間、18歳から25歳までの青春時代の苦楽を共

に過ごしました。卒業後、麗梅は欧州に向かい、私は北京の大学で教鞭をとった後、日本へ行きました。麗梅は現在、ドイツに居を構え、大学教授の旦那さまと可愛いお嬢さんとユストゥス・リービツヒ大学ギーセンで幸せに暮らしています。

私たちは2011年12月に20年という歳月を経て、ニューヨークMOMA芸術博物館で偶然出会いました。その時私たちは、これからは頻繁に会うことを約束し、麗梅は北京に戻ってくるたびに私に会いに来てくれます。私も毎年のように彼女たちに会いにドイツに行っています。麗梅は、若い頃の私も、現在の私も、野望を抱いていた頃の私も知っています。ある日、麗梅が「貴女によく似た人がいるのよ。私の従妹なのだけど。」と教えてくれました。「新宇は知的財産権の専門家で、私の従妹のJenniferは金融に携わっているのだけど、もし2人が会っていろいろ話せば、お互いに刺激になると思うわ。」と言ってくれました。私に似ている女性とは一体どのような人かしらと、ずっと思っていました。私は2018年の秋、私にインスピレーションを与えてくれるポストンを訪れました。そして、有名なハーバード大学を訪ね、ここで創業して、発展している美しく輝く女性Jenniferさんと会ったのです。

### Jenniferの略歴:

Jennifer Jiang (蔣紅波さん)はBlockTESTの共同創業者兼最高経営責任者で、ハーバード大学(Harvard University)CAM Lab中国芸術デジタル実験室の創業メンバーである高級顧問で、2017年マサチューセッツ工科大学のSloan Fellowsである。彼女はモルガン・チェース(JPMorgan)の人民元業務のグローバル責任者を担当し、シティグループ、メリルリンチ証券、モルガン・チェースの幹部役員を歴任するなど、世界資本市場における構造融資と金融科学技術分野において18年間の経験を有している。Jenniferは現在、国連ブロックチェーンプロジェクトID 2020の高級顧問とマサチューセッツ工科大学企業フォーラムの指導者を担当している。Jenniferはマサチューセッツ工科大学(以下、MITという)の科学技術管理の理学修士号、マギル大学のMBA学位及び中国人民大学の統計学士学位を有している。Jenniferは世界的な金融科学技術、データ技術、ブロックチェーン及び企業のデジタル化への転換などの分野でのベテラン講演者でもある。

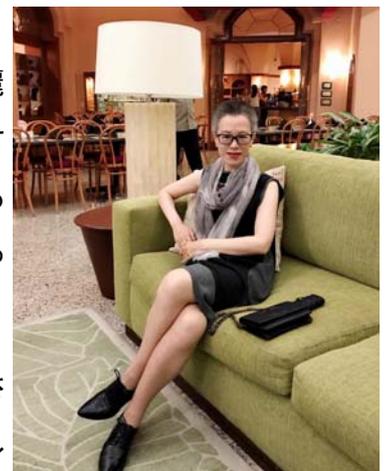


蔣紅波 (Jennifer Jiang) の連絡先: [Jennifer.Jiang@blocktest.net](mailto:Jennifer.Jiang@blocktest.net)

LinkedInリンク: <https://www.linkedin.com/in/jeniferrhjiang/>

**Linda:** Jenniferさん、はじめまして。お会いできて光栄です。貴女を紹介してくれた麗梅さんに感謝しなければいけませんね。Jenniferさんも麗梅さんも本当に綺麗ですね。こんなに素敵な女性で、事業にも成功して、家庭で2人のお子さんの母親でもあるとは、本当に感服しています。私はJenniferさんのことをもっといろいろ知りたいと思っています。

教師出身の私は、有意義なことを皆と分かち合い、輝いている人の光でもっとたくさんの人を明るくできることを願っています。私はJenniferさんの成長と成功を紹介し



て、それを多くの人に刺激を受けさせ、飛躍の原動力となってほしいです。ですから、今日は深いところまでお話を伺いたいと思っていますので、よろしくお願いします。もちろんJenniferさんはたくさんの取材を受けたことがあるでしょうし、私もJenniferさんに関するビデオ資料などを見て勉強してまいりましたが、今日はやはりいろんなことに対するJenniferさんの率直なお考えをお聞かせいただければと思います。

では、最初の質問ですが、Jenniferさんは1992年にご実家の四川省から大学入学を契機に北京へ出て来たのですね。17歳の女の子にとって、親元を離れ勉学に励んだ4年間の大学生活は人生の中でも大きく成長できた時だったでしょうし、あなたの将来の発展にとってもきっと大きな影響があったのではないかと思います。Jenniferさんの大学時代への深い感想や想いを少しでも紹介していただけないでしょうか。

**Jennifer:**なるほど、この質問は確かに的を得ています。大学の4年間で私に教えてくれたことは、謙遜な気持ちで自信を探す(当時は認識していなかったですが)ことでした。

17歳で四川省から北京に出て来たばかりの頃、とても心細くてたまりませんでした。北京出身のクラスメートたちはとても輝いて見えて、自信があり、見識が広く、様々な条件も揃っていました。特に女子学生はとても洗練していました。当時、四川省から来たばかりの田舎者の私にとって、何もかも珍しく、不安でいっぱいでした。しかし、今振り返ってみると、謙虚に観察、比較したことが、私にとって一番の収穫だったのです。常に格差を目の当たりにして、自分の不足を認め、他人の優れたところを称賛した上で、追いかけるという目標があったからこそ、学習することで成長できるように自らを励まします。3人行けば必ず我が師あり。一步一步進歩することで、自信の源となったのです。知らず知らずのうちにそれが私の一生の考え方に影響を与えていたのです。

**Linda:**ありがとうございます。Jenniferさんの話を伺い、私も昔の自分を思い出しました。北京で何年か働いた後に、修士学位を取得するためにカナダへ行く決断をされたJenniferさんは、とても実行力があると思います。Jenniferさんのご専門は確か経営管理でしたね。外国留学において、英語のレベルや、北米文化に対する認識など、きっと様々な衝撃を受けながら、自身で乗り越えていかなければならなかったと思います。Jenniferさんは今の中国の若者たちに



何かご意見をあげていただけませんか。大学卒業生として海外で英語の口語と英語作文の難関をどうしたら突破できますか、又はカナダやアメリカに留学したら、どのような情報をもっと積極的にキャッチし、どのような方面に特別に注意すべきでしょうか。また、多くの学生が現在海外で留学しているのは、北米の文化に魅せられたからだけではなく、留学経験のあるエリートとして将来的に社会や会社において重視され、認められたいと願っているからだと思います。しかし、帰国後、自分の望みを実現できず、ひいては学んだことが役に立たないこともあります。そのような問題に対して、Jenniferさんから何かよいアドバイスをしていただけないでしょうか。

**Jennifer:**はい、そうですね。私はカナダのMcGill(マギル)大学で経営管理を勉強し、専攻は金融学でした。という

のは、大学を卒業して最初に従事した仕事が金融市場に係っていましたが、金融を自分で学習して、同僚に教わり、勉強しながら運用していました。その後、McGill大学で、自分の能力を高め、自分を充実させるチャンスに恵まれ、私は当初非常に興奮していましたが、だんだん怖くなってしまいました。大学時代に私の強みであった数学が、McGill大学で全く発揮できなかったのです。逆に言語と文化は私にとって大きなチャレンジでした。90年代に中国の留学生はまだそれほど多くなく、McGill大学の中国人留学生も実際に少数派でした。留学したばかりの頃、私は英語を全く聞き取ることも、話すこともできなかったのです。MBAの授業では学生が発言することが重要で、皆は積極的に論議をしていました。私は全く皆のペースに付いていけず、憂鬱な気持ちで授業を受けていました。当時は毎日各授業の前に分厚い英文の原著を読むことが課されていました。これは国内では経験していなかったことでしたし、英語力に劣る私には完全に無理なことでした。それに、作文も大変でした。文才があるクラスメートとは違い、何日も徹夜して完成させた初めての課題『組織行為学』の案例分析に、真っ赤な字で書かれたCという評価を目にした瞬間、私は大泣きしました。人生で初めて気持ちはあるけれど実力が伴わないということを実感しました。奈落の底に突き落とされ、一学期の最後まで頑張れないかもしれないと気落ちしました。当時の私にとって、入学できたのはサプライズでしたが、卒業することは奇跡でしかないと考えていました。

しかし、このまま諦めてしまったら、負け犬に成り下がってしまいます。今が最悪だから、これ以上は悪くはならないと自分に言い聞かせながら、クラスメートがほんの数時間で完成できる英文読解と宿題に、誰よりも早く始めて、毎日寝る時間を削って臨みました。当時、私は週に大体20時間程度しか寝てなかったです。日々決められた英文読解を終え、課題を完成させる頃、すでに夜が白白と明けていました。その後暫く横になって休憩して、授業に行くという繰り返しでした。すらすらと話せるクラスメートには及びませんが、事前に要点をまとめ、基本的な単語と文法で表現することで、クラスメートにも徐々に認められるようになりました。



成績もオールCからBに上がりました。2年生になると、Aの科目が増え、MBA2年目の最後の学期にはオールAを取ることができたのです。私が一番誇りに思っているのは、国際金融という重要な科目の授業発表でクラス最高点を取れたことです。そして卒業式でアカデミックドレスに身を包み、角帽をかぶった時、悲喜こもごもでした。それまで自分が歩んできた道で、出会った苦しみは自分にしか理解できないのです。自分が歩んできた道において、

時間は研磨機であり、努力は加速器なのです。これさえ分かれば、どんな環境にでも適応できると自信があると思います。

私は平凡な人間に過ぎません。しかし、私は決断することができますし、やり抜こうとする根性もあるのです。何をやるにしても、一旦方向さえ決めれば、最後までやり抜くことができます。このことについては、大学時期はまだ気づきませんでしたが、留学して、生き抜くためにそれを発揮できたのです。そのことも私の将来の職業人としての発展に大きな影響を与えてくれました。

現在の留学生は経済的にも、言語能力、学科知識も、私たちの頃よりずいぶん良くなりました。彼らの多くは留学

前にアメリカへ行ったことがありますし、英語のレベルもアメリカ人に劣らないくらいです。私は彼らを素晴らしいと思うと同時に、羨ましくもあります。

しかし、実際に、どの時代の若者にもその時代のチャレンジがあります。異国に行けば、異なる文化、生活習慣に適應できず悩むことは致し方ないことです。祖国や家族に守られるという安全感や優越感はなくなり、心理の落差が大きくなります。この2、3年間、私はMITとハーバードでたくさんの優秀な留学生と会ったり、交流したりして、人生の計画、進路の選択などについて話し合う機会がありました。現代のエリートである彼らもやはり、将来について考える時、悩んだり苦しんだりすることは同じです。

人生における歩みやすい道はいつも下り坂です。

どんな時代で、どこにいても、目標に対して強い意志を持ち、何事にもくじけないことが大切です。知識面でも、異なる文化でも、人間関係においても格差があつたら、それを認めた上で、最大限尽力することです。自信を持ちながら、いくら難しく、辛くてもむやみに卑下することなく、努力すべきです。どのような環境にあつても、自分の才能を発揮できたら、悔いのない人生を過ごすことができるのです。

現在、大学でどんな専門を選び、将来法律、心理学、経営、金融等どんな業種に従事することを希望しても、プログラミング言語やコンピューター演算能力などの基本的な知識を身につけることが必要不可欠です。李光耀はシンガポールを建国する時に、「英語さえできれば、仕事にあぶれることはない。」と全国民に英語を勉強させました。科学技術の革新を発展の原動力とする未来にとって、プログラミング言語は基礎ツールとして、ヒトマシンの対話を行う基本的な能力だと思います。



なお、知識の獲得と情報の収集について、重要なのはその内容ではなく、そのやり方です。MITの教授は学生に、「君たちがこの学期に勉強した知識は、卒業前に恐らく時代遅れのものになってしまうでしょう。大学とは人生における自修の始まりに過ぎないです。大学では、問題を独自に考え、答えを探す能力を繰り返して鍛えているのです。」といつも話しています。

勉強とは、自分の気持ちや考えと深く繋がっています。趣味は最高の先生です。私は銀行投資、ブロックチェーンについて独学で学びました。誰にも教えてもらわなかったのですが、物事にはそれなりのルールと道理がありますから、短時間で複雑な現象を通して根本とロジックをつかめばよいのです。新たな趣味ができましたら、如何勉強すれば、最も効率的なのかということこそ勉強すべきです。つまり、知識の森の中で、どの木を切る価値があるのか、如何にして刀を磨けばよいのか、そこから人によって差がつけられます。

私は、受け売りの言葉を使わず、創意に工夫をする西洋人の「創造的思考」を非常に優れていると思います。どのような問題に直面しても、矛盾を創造力の原動力にするのです。それは、私が銀行投資で何度も「deal of year」を受

賞して、MBAの時に体得した秘密武器です。

それは生活にも適用できます。例えば、面白い話ですが、私はモルガン・チェースにいた時、中国の競技レースで優勝しました。多くの人から、「どんな練習をしたら、そこまで走れるのか。」と尋ねられ、「ただ太極拳のこつを利用して走っただけよ。」と答えました。皆は冗談だと思っていたようですが、冗談ではありませんでした。私にとって、フルマラソンを必死で走ることと、4時間ぐらいゆっくり太極拳をすることは大体同じことです。

**Linda:** アハハハ、確かに面白いですね。Jenniferさんは真当のマラソン愛好者ですね。太極拳の運動のポイントをマラソンに運用するなんて、本当に聡明ですね。カナダナショナル銀行とモルガン・チェースという有名な銀行2行で高級管理職として勤め、20年も経たずに、北米、香港、シンガポール、北京、上海で成功できたのは、抜群の勤勉さと智慧に恵まれたからだけではなく、人間関係の処理、社交、社会としっかり繋がる能力も並みのものではないからだと思います。それはJenniferさんの天性のものですか、それとも後天的に特に注意して身につけたのですか。

**Jennifer:** Lindaさんの質問も普通ではないですよ。ますます難しくなりましたね。

こんなに高い評価をしていただき恐縮です。ただ周りの人と比べて、私はいつでも決断ができ、捨てることができるという強みがあるかもしれません。

例えば最近捨てたのは、モルガン・チェースを離れ、MITでSloan Fellowsになったことです。当時、私のボス、中国、アジア太平洋地区のCEO及び同僚の全ては、私のことを頭がおかしくなったのではないかと、まだ一体に何に満足できていないのかと思ったようです。理性的に現実を考えると、私も偶には自分が訳が分からないと思う時があります。私は、モルガン・チェース初の中国人の全世界総監でした。モルガン・チェースは、私が銀行を離れないように20年来の慣例を破って、高級管理層に個人的な理由で「学術休暇」を許可してくれました。私がMITへ留学した後、香港とニューヨーク地区の上層部は、「学業を修了させたら早く戻ってください。」と言ってくれましたが、私は結局、辞めることにしました。

昨日ポストン大学での講演会で、同じグループのCFO講演者からも、「Jenniferさんがやっていた仕事は、全ての金融出身者にとっては、Dream Jobですよ。ウォール街のゴールドカラーで、長年の経験をお持ちで、仕事は順調にいていたのに、どうしてお辞めになったのですか。」と聞かれました。

実は私が言いたいのは、捨てる時、ただ何も考えることなく、振り返ることもしないのではありません。ポストン行きの飛行機で、窓の外の雲海を眺めながら、これまで積み重ねてきたことを捨てることと未知の未来に直面して、私も迷いました。しかし、私の心の中には執念があったようで、自分が一番価値があると思うことをやりたいのです。

私のことを以前、勇気、好奇心と可塑性があると評価してくれた投資家がありました。私にとって、人生の幸福の秘密は自由であり、自由への秘密は勇気であることです。



私の人生にはこれまで、何度も大きな転換期がありました。1回目は汽車に乗って四川省の小县城から北京に行ったことです。2回目は順調であった北京での仕事を辞めて、カナダに金融を勉強するために留学したことです。3回目は海外で20億ドルのファンドを管理している時に、ためらうことなくアジアに戻ったことです。そして、4回目はトップ投資銀行のモルガン・チェース(JPMorgan)の全世界の最高管理職を辞め、MITへ科学技術・イノベーションを勉強しに行ったことです。カードを出す時のルールを問わず、人生においては規則に従いません。あくまでも、全ては自分の留まるところのない好奇心のためです。より遠くにある見たくて仕方のない風景を発見したら、なんとしても前進するのです。

転換期には、それなりの苦しみを伴います。しかし、毎回の転換後、私は意外と自分が別の人生形態にスムーズに入ることができることを発見しました。強い応変能力があるのは、何回もの人生を生きてきたようなことで、多くの人を理解できるからだと思います。

私の指導教官であるロバート・マートン先生(ノーベル経済学賞の受賞者)は、人間関係の核心は信頼であると言いました。信頼とは相手の率直な人柄だけではなく、優れた能力も信じることであり、どちらが欠けても成り立たないのです。

感情指数の高さは、他人の出発点から問題を考えるか否かによるのです。過去の判断を積み重ねた結果こそが、現在の私たちの人生です。共感には、願望があるだけではなく、経験と能力も必要なのです。

「プロ」とは学習の習慣です。どのようなことをしても、その分野の最高基準になろうとすることです。新たな先端科学技術に対する探求から、一部の報告書を書くことまで、もっとプロとして完成できるはずです。如何にプロになるかは自分の完璧ではないことに対する耐性によるのです。40代は50代に比べて、より激しい競争環境で育ったため、プロとしての資質がより強いです。

そして、より大切なのは、前向きな生き方だと思います。多くの人から、私はどうすれば自信を持てるようになるかと聞かれました。実際に、自信と利己的はコインの両面のようなものです。あなたの言動が自分が「上に立つ」というイメージを作ることではなく、「分かち合う」という気持ちから出ていけば、何も恐れることなく、他人の目から見ればそれは自信となるのです。反対に、利己的な人は自信を持つことが難しいです。なぜならば、自分のイメージと程合いの損得が気になりすぎて、恐れてしまうか、又は傲慢になってしまうからです。私にとって、500人規模の大会でスピーチするのと、5人だけの小会議室で発言するのとでは、自分の心理的なストレスに特に大差はなく、それは「分かち合う」という心理状態に感謝するのです。

**Linda:** おっしゃる通りですね。なぜこの質問をしたのかと言うと、林達劉事務所では現在、40代、特に30代の所員の持っている能力、特に専門知識に関する能力は、とても素晴らしいと感心しています。私がJenniferさんに率直に申し上げれば、60代の成功した企業家は高い社会観念と母国のために尽力するという志を持っていると、最近よく考えています。中国において改革開放後の初代創業者として、彼らは歴史的な責任を果たしたのです。また、私たちのような50代の多くも愛国心と社会への責任感を持っており、相当高い専門能力も有しています。しかし、この能力は「非専門」の専門能力であり、もっと緻密化させる必要のある部分もまだまだたくさんあります。50代の皆さんは恐らくこの見方に賛同してくれるものと思います。そして、40代の人々の専門レベルは高く、年長者から見ても感服すべき

で、信頼に値します。青は藍より出でて藍より青しである30代、20代はより専門的になっていくと思いますが、社交や人間関係の処理においては、物事に対する理解と遠くまで見通す能力はまだ今後経験を積み、鍛える必要があるのではないのでしょうか。Jenniferさんにも同感していただけるところがあるかと思いますが、Jenniferさんのお考えを是非伺いたいです。

また、Jenniferさんは、このような大きな決心をして、モルガン・チェースを離れ、まだ他の社会的な公職を兼ねておられますが、ハーバードの中で自分の会社を起業し、しかも2人のお子さんの母親として、プレッシャーも相当あるのではないのでしょうか。このような大きな転機を迎えたのはJenniferさん自身が自分の才能を信じていたからですか、それとも長年の経験に基づいてこの時代に賭けたからですか、又はご自身で起業しないと悔しかったからですか。私が今考えられるのはこの3つのことだけですが、Jenniferさんの回答をととても知りたいのです。

Jenniferさんから「リンダさん、林達劉事務所だけでいいですか。これで終わりですか。」と聞かれ、私は「林達劉事務所を運営することで、私の人生の最高点に達しました。」と答えました。私は人生で2つの職業を経験しました。1つは7年間の大学教師であり、もう1つは特許弁理士です。特許弁理士として、私は決して合格点を与えられるとは思っていません。多くのプロの特許弁理士と比べても、私はプロの領域に達していないと思いましたので、林達劉事務所を作ったのです。そして、今年で15年経ちました。Jenniferさんの質問に対する私の答えは、私は1つの会社を作っただけで、そこには留まります。しかし、これで終わりということではありません。というのは、私は人材を育成したいのです。再び本業に戻り、教師として人材を育成したいのです。ただし、その人材育成の場所を林達劉事務所に定めたのです。林達劉事務所の人材の育成は、私自身の前進を推し進める最も楽しい仕事であり、生きがいです。ですから、Jenniferさんの前進を推し進める一番の原動力、又は理由について興味があるのですが、教えてくださいませんか。

**Jennifer:** 私を動かす原動力ですか。Lindaさんが今仰った3つの理由は全部正しいとも言えますが、全部間違っているとも言えます。自分をもっと上を目指し、もっと人を助ける能力のある人間になれるとずっと思っています。自分の能力で他人を助けることができ、この世界が自分の存在で少しでも良くなれば、幸せなのです。

しかし、他人を助けるには、まず十分な能力が必要です。前にも申し上げたように、高度な共感と知恵が必要だと思います。私は自分の共感はまだ改善の余地があり、知恵に対する要求も限りがなく、まだまだ努力が必要なのです。

私はモルガン・チェースを離れてから、短期間で2つの創出事業に参加して主導しました。1つはハーバード大学の中国芸術デジタル実験室で、もう1つはいくつかのMITのデータ科学者と共同で作ったブロックチェーン会社BlockTESTです。かなり違いのある2つの分野において、私は非常に多くの優れた人材を認識できました。しかし、あらゆる創出事業の共通なチャレンジにも直面しました。以前の人がやっていたことをするのは、ゼロからの

スタートで、非常に困難なことです。人生の如何なる段階でも、自分のすべての欠点や不足をしっかりと把握した上で、挑戦しようとするれば、創業できると思います。だからこそ、人生は楽しいのです。

私が尊敬している日本の企業家稲盛和夫さんは、自分の可能性を信じる重要性を仰っていました。現時点の能力以上の高い目標を定めて、将来的にその目標を達成できるように尽力したいと思います。

自分の今の仕事を「将来形」で考えることが、私を突き動かす原動力かもしれません。

**Linda:** 稲盛和夫さんのお話には確かに含蓄がありますね。私は、Jenniferさんの話からも多くの回答を得ることができました。最後の質問ですが、Jenniferさんが答えてくれるかどうかは分かりませんが、Jenniferさんはどこまでやったら手を引くのですか。それともずっと前に進んで行くのですか。もちろん、その問いに対して、私にいつ手を引くのかと問い返してくるかもしれませんが、私は命ある限り勉強を続けます。私は、教室を林達劉に定めて、自分が教師であり、学生でもあると思っています。中国の女優の張艾嘉さんがかつて、「母と娘の関係をどのように考えているか。」と問われたのに対して、「私たちの幼い頃、母は母であり、私たちは娘である。母が年老いた時、母は娘であり、私たちは母である。」と答えていたのに、私は共感をしています。私は林達劉の多くの仲間とある時は師弟の関係であり、ある時は親密な兄弟のような関係であるのです。年齢差はもう私たちの間で障害ではありません。ですから、Jenniferさんのような優秀な女性にはもっと羽ばたいて欲しいと思っています。バフェットも「大きいスノーボールを転がすのに適した長い長い坂を見つけること、そして、十分な雪があること」と言っています。

私たちは人生に対して無限の展望を持ち、無限に自分を突き動かす原動力があると信じています。また、「前に一体何があるかを知りたい」という好奇心を失ってはいけないと思っています。Jenniferさんには「私は決して手を引かない。」と答えてもらいたいのです。実際にはどう答えてくれますか。

**Jennifer:** はい、そうですね。私は最近サンフランシスコでID 2020の年次総会に参加しました。それは、あるデジタル技術で全世界の貧困人口に数字の身分を与えようという国連傘下の国際公益組織です。ボストンに帰る途中、小さい事故に遭遇しました。飛行機が並んで離陸しようとした時、エンジンに問題があることが分かり、再度点検に戻ったのです。

飛行機が再び離陸する時、もしエンジンが直っていなかったらどうなっていたのだろうと、冷静に考えました。その時、自分があまりにも冷静で落ち着いていたことに、我ながら驚きました。ずっと慌ただしく行ったり来たりしている私にとっては、この世に何の未練もないのかなあと感じていました。

MITの全世界指導力の授業において、教授から、「もしあなたに3年間の余生しかないとしたら、何をしますか。」と深く考えさせられる質問をされました。

そして今、あなたがやっていること確認してください。それはこの質問の答えと大体合っているのではないのでしょうか。

多くの人が一心に前進する時、自分の究極の目標をじっくり考えるのは難しいと思います。まさかLindaさんからこのようにずばり尋ねられたとは思ってもいませんでしたよ。

私はMITの「リーダー企業」という授業のJan Van Maanen教授に感服しています。彼は1972年からMITでこの授

業を始め、半世紀ぐらい経ち、今は80歳近くのご高齢ですが、まだお教壇で教鞭を執っておられます。機敏で、観点が鋭いので、かつて中風を患っていたとは全く想像することすらできません。1955年から2016年までのFortune 500の企業は12%しか残っていませんが、彼の知恵の恩沢を受けた世界の企業家や指導者、私の同門の先輩達は、今後も世界を幸福にしていくと確信しています。

私は今後どのように進んで行くか分かりません。これまでの人生の転換期のように、計画はしませんが、年老いた時にも人生の喜びを見たり、感じたりして、春を迎えるたびに、いつも若々しい気持ちで、内面的にも外面的にも魅力を備えていたいと思います。

それでは、Lindaさんが引用してくれた、私も大好きな「大きいスノーボールを転がすのに適した長い長い坂を見つけること、そして、十分な雪があること」というバフェットの言葉で答えさせていただきます。

お互いに励まし合いましょう。

**Linda:** はい、お互いに励まし合いましょう。Jenniferさん、本日はご多用のところ私たちのインタビューを受けてくださり本当にありがとうございました。きっと多くの人がJenniferさんの成功に感銘を受けたものと確信しています。Jenniferさんに会ったら、貴女の従姉である麗梅さんがどうして私たちを引き合わせてくれたのかよく分かりました。本来一生教師をやっているはずだったの私は、Jenniferさんのような素晴らしい人材を育ててくれたこの時代に感謝の気持ちでいっぱいです。あなたとのご縁を取り持ってくれた麗梅さんにも感謝します。Jenniferさんのますますのご発展を心よりお祈りいたします。



多くの読者の皆さんがこの40代と50代の対談にご興味を持っていただけるのではないかと思います。この新しい時代にJenniferさんがますます羽ばたいていただけることを祈っております。また、皆さんもこれからもこの綺麗で優秀な女性に引き続き注目してください。そして、私たちは、彼女に学びながら、自分自身の新しいイメージを構築して、新しい目標を立てるように一緒に頑張りましょう。

(今回のIPNEWSに掲載している写真は、弊所のリンダがアメリカのハーバード大学で撮影したものです。)

責任者: 代表取締役 弁護士 弁理士 魏 啓学(Chixue WEI)  
 社長 弁理士 劉 新宇(Linda LIU)  
 担当者: 所員 キン 英芳(Yingfang JIN) 張 輝(Ashley ZHANG)

北京林達劉知識産権代理事務所 企画室  
 (Business Development Department, LINDA LIU & PARTNERS )  
 〒100013 中国北京市東城区北三環東路36号 北京環球貿易中心C座16階  
 Tel : 86-10-5825-6596(WEI) 86-10-5825-6089(LIU) 86-10-5825-6366(代表)  
 Fax : 86-10-5957-5201(代表)  
 E-mail: [ipnews@lindaliugroup.com](mailto:ipnews@lindaliugroup.com)  
 Website: <http://www.lindapatent.com>